

報道関係者各位
プレスリリース



2017年9月27日
公益財団法人 日本 YMCA 同盟

日本 YMCA、新ブランドロゴ・スローガンを発表 137年のイメージを一新、“ポジティブネット”の創造を目指す

世界最大のNGO「YMCA(キリスト教青年会)」のネットワークに連なる公益財団法人日本YMCA同盟（所在地：東京都新宿区、会長：正野隆士、代表理事：神崎清一）は、2017年10月よりブランドロゴを一新、スローガンも新しく定め、社会貢献団体として希望ある豊かな社会の創造を目指していきます。

団体URL：<http://www.ymcajapan.org/>



YMCA イメージ

■ 137年間、全国250カ所以上の拠点で14万人が活動～拡大する多岐にわたる事業～

日本のYMCAは1880年（明治13年）に東京で始まり、多様な分野でパイオニアとなる働きを全国各地で展開してきました。日本で初めての英語学校、室内プール、そしてバスケットやバレーボールなど

のスポーツ競技、野外での教育キャンプ、それらの活動の中心となる「青年」という言葉も YMCA から誕生しました。この 137 年間、青少年を中心とした（学校でも家庭でもない）社会教育を行う団体として各種事業を展開し、全国 250 か所以上の拠点で、14 万人が活動するまでとなりました。

事業は、保育園・幼稚園・子ども園等の幼児教育、学童・アフタースクール、水泳・サッカー・体操等スポーツプログラム、野外教育（キャンプ）、児童発達支援、オルタナティブ教育、専門学校から、成人のためのフィットネス、英語その他の語学教育、日本語学校、近年では高齢者支援も行っています（2016 年度全国事業規模 286 億）。

同時に、世界に連なる社会貢献団体として、ボランティア活動、寄付活動も積極的に行い、東日本大震災では 6 年間の活動でおよそ 5 万人のボランティア、9 億 4 千 2 百万円の募金が国内外から集結。熊本地震でも指定管理者として避難所運営を行い、子ども・高齢者・女性・外国人、そしてペットにも配慮した人道的支援で大きな注目を集めました。

日本 YMCA は、世界に広がるネットワークを活用し、多彩な国際協力・交流事業を行い、平和の創出を地域から目指してきました。

■ 分かりづらくなっていたイメージを一新

一方で、この間、活動の対象が多世代になり内容も多様化したことで、「何をやっている団体かわからない」という声を聴くことが多くなりました。2015 年の大規模な生活者アンケートでは、「よく知らない」「イメージがわからない」という回答が多く、「キリスト教団体」「若者向け」「国際団体」と漠然とされていることが浮き彫りとなりました。

また、「YMCA は聞いたことがある」という回答は多く、認知度は非常に高いことが明らかになりましたが、具体的なイメージが希薄になっており社会に必要な団体としての訴求力が低下している現状があります。そこで、YMCA ブランディング・プロジェクトを立ち上げ協議を重ね、この度、ブランドコンセプトを定めロゴを変更することに至りました。

2017 年、未来に目線を上げ、YMCA がこれからも必要とされ、多くの方々に選ばれる存在となるために、決意をもって新たに旗印となるロゴ・スローガンを掲げ、新しい社会概念“ポジティブネット”のある豊かな社会の創造を宣言します。

■ 新ブランド ロゴ・スローガン・コンセプト



<ロゴ>

鳥が飛び立とうとする瞬間の姿をモチーフとしたシンボル。

一人ひとりの生命の息吹、未来へ向かう前向きな力、平和への想いを表現。

<スローガン>

みつかる。つながる。よくなっていく。

<コンセプト> (別紙)

あなたが、したい何かを「みつける」ために。

プログラム：YMCA は、多様なニーズに応えられるよう、幅広い活動を展開していきます。

あなたが、「つながりたい」誰かを探すために。

活動拠点：YMCA は、家族、コミュニティ、全国、世界の人びととの「つながり」の創出を大切にしています。

あなた自身の人生がもっと「よくなる」ために。

かけがえのない場所として：これからの世界に不可欠な、かけがえのない場所になっていきたい、YMCA はそう願っています。

■新しい社会概念“ポジティブネット”とは

人は一人では生きていくことはできません。支え合い、分かち合うつながりが必要です。互いを認め合い、高め合うことのできる、人の善意や前向きな気持ちによってつながるネットワーク、それを YMCA は「ポジティブネット」と名付けました。課題の多い社会のなかで、社会保障的な役割をもったセーフティネット（最低限の社会保障）が機能するよりもっと早い段階から、ポジティブネットは社会に希望をもたらし、新たな豊かさを提供していきます。

日本語にすると誰もが生きやすい、希望ある豊かな社会を創造する社会安心網です。

■団体概要

YMCA は Young Men's Christian Association（キリスト教青年会の意味）の頭文字をとったもので、世界 119 の国と地域で、およそ 5800 万人の会員を有する世界最大の NGO（非営利組織）。本部はスイス・ジュネーブ。

日本の YMCA は、全国 35 の都市、36 の大学、250 か所以上に拠点があり、会員数は約 14 万人。（上記説明文に含む）

団体名：公益財団法人 日本 YMCA 同盟

所在地：〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町 2-11

代表者：会長 正野隆士 代表理事 神崎清一

設立：1903年7月24日

URL:<http://www.ymcajapan.org/>

<主要拠点>

北海道、盛岡、仙台、群馬、栃木、茨城、千葉、埼玉、東京、神奈川、山梨、富山、名古屋、三重、滋賀、京都、奈良、大阪、和歌山、兵庫、岡山、広島、北九州、福岡、熊本、鹿児島 他

【本リリースに関するお問い合わせ】

公益財団法人 日本YMCA 同盟 〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町 2-11

TEL03-5367-6645 FAX03-5367-6641 担当：横山由利亜・山根一毅



Vision

YMCAが実現したい世の中の姿

**互いを認め合い、高め合う
「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。**

「ポジティブネット」

互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、

善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと。

課題の多い社会の中で、それは、生きるためのひとつの選択肢となっていく。

私たち日本のYMCAは、グローバルなネットワーク基盤を活かして

ポジティブネットを広げ、希望あるより豊かな社会を創ります。

Value

YMCAがステークホルダーに提供を約束する価値

**したい何かがみつきり、誰かとつながる。
私ができる、かけがえのない場所。**

みつかる
Encounter

つながる
Connect

よくなる
Transform

Personality

ブランドとして備えているべき個性、らしさ

**心をひらき、わかち合う。
前向きで、まわりを惹きつける
魅力を持つ。**

Open & Sharing. Proactive & Attractive.